

観察した鳥類チェックリスト

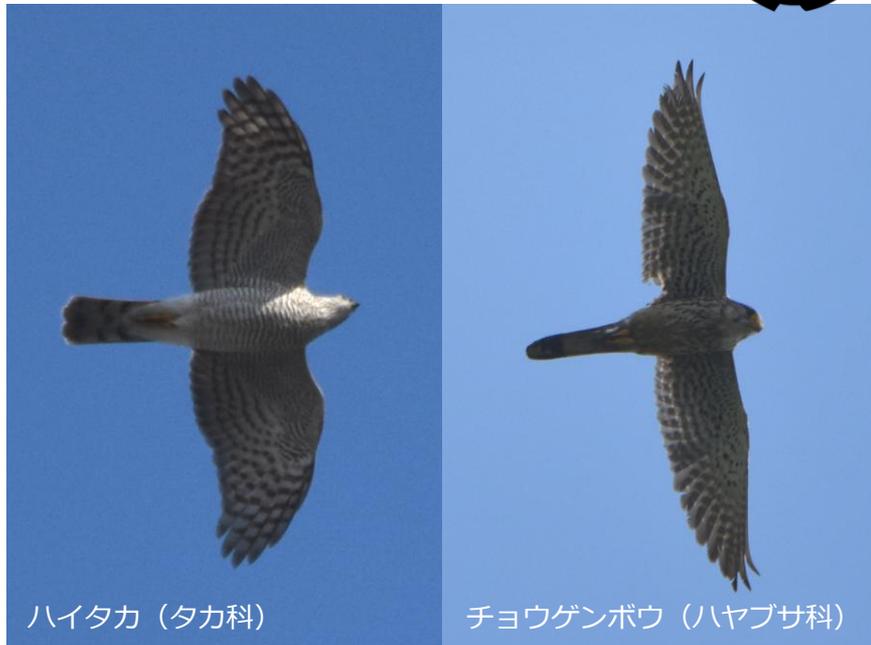
- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目 | ★ツル目 | ★ハヤブサ目 | □ ツグミ |
| ・キジ科 | □ クイナ | ・ハヤブサ科 | □ ジョウビタキ |
| □ キジ | □ バン | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科 |
| ★カモ目 | □ オオバン | □ ハヤブサ | □ スズメ |
| ・カモ科 | ★チドリ目 | ★スズメ目 | ・セキレイ科 |
| □ コブハクチョウ | ・チドリ科 | ・モズ科 | □ キセキレイ |
| □ オカヨシガモ | □ タゲリ | □ モズ | □ ハクセキレイ |
| □ ヨシガモ | □ ムナグロ | ・カラス科 | □ セグロセキレイ |
| □ ヒドリガモ | □ コチドリ | □ カケス | □ タヒバリ |
| □ マガモ | ・セイタカシギ科 | □ オナガ | ・アトリ科 |
| □ カルガモ | □ セイタカシギ | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ |
| □ ハシビロガモ | ・シギ科 | □ ハシブトガラス | □ アトリ |
| □ オナガガモ | □ タシギ | ・シジュウカラ科 | □ ウソ |
| □ コガモ | □ イソシギ | □ ヤマガラ | □ シメ |
| □ ホシハジロ | ・タマシギ科 | □ シジュウカラ | □ コイカル |
| □ キンクロハジロ | □ タマシギ | ・ヒバリ科 | ・ホオジロ科 |
| □ ミコアイサ | ・カモメ科 | □ ヒバリ | □ ホオジロ |
| ★カイツブリ目 | □ ユリカモメ | ツバメ科 | □ カシラダカ |
| ・カイツブリ科 | □ セグロカモメ | □ ツバメ | □ アオジ |
| □ カイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科 | □ オオジュリン |
| □ カンムリカイツブリ | ★タカ目 | □ ヒヨドリ | □ |
| □ ミミカイツブリ | ・ミサゴ科 | ・ウグイス科 | □ |
| □ ハジロカイツブリ | □ ミサゴ | □ ウグイス | □ |
| ★ハト目 | ・タカ科 | ・エナガ科 | □ |
| ・ハト科 | □ トビ | □ エナガ | □ |
| □ キジバト | □ チュウヒ | ・メジロ科 | □ |
| ★カツオドリ目 | □ ツミ | □ メジロ | (外来種や家禽) |
| □ カワウ | □ ハイタカ | ・ヨシキリ科 | □ パリケン |
| ★ベリカン目 | □ オオタカ | □ オオヨシキリ | □ ガチョウ |
| ・サギ科 | □ ノスリ | ・セッカ科 | □ アヒル |
| □ ヨシゴイ | ★ブッポウソウ目 | □ セッカ | □ ドバト |
| □ ゴイサギ | ・カワセミ科 | ・ムクドリ科 | |
| □ アマサギ | □ カワセミ | □ ムクドリ | |
| □ アオサギ | ★キツツキ目 | ・ヒタキ科 | |
| □ ダイサギ | ・キツツキ科 | □ シロハラ | |
| □ チュウサギ | □ コゲラ | □ アカハラ | |
| □ コサギ | | | |

【1月のテーマ】

手賀沼のタカとハヤブサのなかま

1

案内人：小田谷嘉弥（鳥の博物館学芸員）
・蒲田知子（鳥の博物館市民スタッフ）



ハイタカ（タカ科）

チョウゲンボウ（ハヤブサ科）

▲タカとハヤブサは似ていますが、翼の先端の形に違いがあります。遠くを飛んでいるタカやハヤブサの仲間を見分けるには、色よりも形や飛び方のほうが重要な手がかりになることがよくあります。

タカとハヤブサの仲間は、他の動物を食べる肉食性の鳥で、生態系の中でも上位の捕食者です。すなわち、タカやハヤブサが暮らしていくためには、豊かな生きものにぎわいが欠かせません。今日は彼らの観察を通じて、生きもの同士の食べる一食べられる関係について考えてみましょう。

2020年1月11日（土）

手賀沼とその周辺で越冬期に見られるタカとハヤブサ図鑑



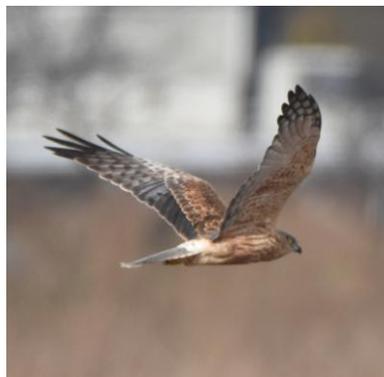
ミサゴ (ミサゴ科)
カラスより大きい

細長い翼を持った白黒のタカで、カモメ類のようなシルエットが特徴。魚を主食とし、空中から水に飛び込んで足で魚を捕まえる。手賀沼では秋から冬にかけて、杭の上に止まって魚を食べていたり、休んでいる姿がよく見られる。



トビ (タカ科)
カラスより大きい

全身褐色の大型のタカ。長い尾羽の中央部が少しへこんでいることで他のタカの仲間と見分けられる。死んだ動物の死体が主な食べ物で、生きている大型の動物をおそうことはほとんどない。手賀沼ではほぼ1年中見られるが、数は多くない。



チュウヒ (タカ科)
カラスくらい

湿地に暮らすタカで、羽色は個体によって白黒から褐色までさまざま。ヨシ原の上を翼をV字に保ったまま飛び回るのが特徴。長いあしを使って鳥や哺乳類を地上で捕えて食べる。手賀沼では秋から冬にかけて少数が見られる。沼沿いのヨシ原の中でねぐらをとる。



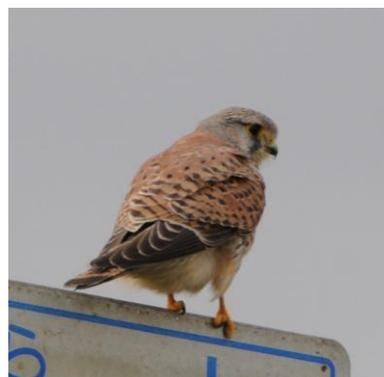
ノスリ (タカ科)
カラスくらい

丸っこい体形の褐色のタカで、白っぽい下面に茶色い腹巻きのような模様が特徴。田んぼや畑などの開けた環境で主にネズミ類をおそって食べる。手賀沼では主に秋から冬にかけて電柱や農地の杭に止まっているのがよく見られる。



オオタカ (タカ科)
カラスより少し小さい

成鳥は白黒、幼鳥は褐色の羽色をもつタカ。力強く速い羽ばたきで飛ぶ。主に中型~小型の鳥をおそって食べる。手賀沼周辺では1年中見られるが、秋から冬にかけてカモなどの水鳥を狙って沼沿いによく現れる。



チョウゲンボウ (ハヤブサ科)
カラスよりずっと小さい

とがった細い翼と長い尾が特徴的な小型のハヤブサの仲間。小型のネズミ類や昆虫を主な餌とし、空中でホバリングして獲物を探す姿がよく見られる。我孫子市内では利根川にかかる橋で複数が繁殖しており、河川敷や農地で1年中見られる。